

無題（スクーターとぶつかった事故について）

男性

今回の事故は私の不注意から起きました。
事故の後、私は自分の身体が軽傷で済んだ事の安堵や事故の相手方に対する謝罪や心配、家族に迷惑をかけた事、職場を空ける申し訳なさ等色々な気持ちを満足に動けない身体の中で抱えています。

事故の当日は仕事が休みで日中は走ったりジムで身体を鍛えたりして過ごし、事故の起きた夜の7時頃には相当疲れていて、その状態で自転車に乗りました。事故現場の道は家から近く、通勤で毎日通る場所でもあり、今考えるとそんなところに見えない油断が既に生じていたのかも知れません。いつもと同じ様に自転車を走らせ事故現場となる右折場所まで来ました。暗がりの中、車のライトの明かりが無かったので今日はやけに車の通りが少ないなと思いながら右折場所の横断する道路の先と、この時には確認したつもりで、右折のために車道を横断しました。私の意識の中では、横断が終わり右折先の前方に気を付けながら自転車を漕いだ時に、真横から眩しい光ともの凄い衝撃が私に向かって来ました。

飛んでいる感覚の後にアスファルトに叩きつけられました。幸いに頭を打つこともなく、倒れた直後も意識はしっかりとしていました。
私よりはるか前方に倒れている相手の女性と乗っていたであろうスクーターを見て、大丈夫だろうかと考えました。

その後、通行人が通報をしてくれ、病院に運ばれ、怪我は鎖骨の骨折と全身のいたる所に打撲をただけで済み、相手の方も特に大事に至らなかったとのことなので良かったと思っています。

事故の後の現場検証で自分の普段の運転のつもりや、だろうといったあやふやな判断がどれだけ危険だったのか実感しました。

今回の事故が軽傷で済み、道路での危険や自分の責任を学ぶことができました。しかし、もし頭でも打っていたらと考えると本当に恐ろしいです。道路での安全確認は誰でも出来ることなので、こうした事故体験から始めるのではなく、痛い思いをする前にやっていたら良いと私は思います。